

野菜くらぶ栽培自主基準

目次

野菜くらぶ栽培基準	1				
付表1(有機JAS使用可能肥料・資材・農薬一覧)	4				
付表2(使用予定資材一覧)	6				
レタス栽培基準	7	使用可能農薬一覧表	54	出荷基準	65
キャベツ栽培基準	10	使用可能農薬一覧表	55	出荷基準	66
ハクサイ栽培基準	13	使用可能農薬一覧表	56	出荷基準	67
サニー・グリーンカール栽培基準	14	使用可能農薬一覧表	54	出荷基準	68
ロメインレタス栽培基準	16	使用可能農薬一覧表	54	出荷基準	69
フリルレタス栽培基準	17	使用可能農薬一覧表	54	出荷基準	70
コマツナ栽培基準	18	使用可能農薬一覧表	57	出荷基準	71
ハウレンソウ栽培基準	19	使用可能農薬一覧表	57	出荷基準	72
ニラ栽培基準	22	使用可能農薬一覧表	58	出荷基準	73
シュンギク栽培基準	23	使用可能農薬一覧表	58	出荷基準	74
ミズナ栽培基準	24	使用可能農薬一覧表	57	出荷基準	75
かき菜栽培基準	25	使用可能農薬一覧表	58	出荷基準	76
フキ栽培基準	26	使用可能農薬一覧表	58	出荷基準	77
ブロッコリー栽培基準	27	使用可能農薬一覧表	56	出荷基準	78
ミニカリフラワー栽培基準	29	使用可能農薬一覧表	55	出荷基準	79
ダイコン栽培基準	30	使用可能農薬一覧表	59	出荷基準	80
聖護院大根栽培基準	31	使用可能農薬一覧表	59	出荷基準	81
ニンジン栽培基準	32	使用可能農薬一覧表	59	出荷基準	82
かぶ栽培基準	33	使用可能農薬一覧表	59	出荷基準	83
こんにゃくいも栽培基準	34	使用可能農薬一覧表	60	出荷基準	84
アスパラガス栽培基準	35	使用可能農薬一覧表	58	出荷基準	85
タマネギ栽培基準	36	使用可能農薬一覧表	60	出荷基準	86
トマト栽培基準	37	使用可能農薬一覧表	61	出荷基準	87
ミニトマト栽培基準	39	使用可能農薬一覧表	62	出荷基準	88
トウモロコシ栽培基準	40	使用可能農薬一覧表	60	出荷基準	89
チャマメ栽培基準	41	使用可能農薬一覧表	60	出荷基準	90
エダマメ栽培基準	42	使用可能農薬一覧表	60	出荷基準	90
ピーマン栽培基準	43	使用可能農薬一覧表	63	出荷基準	91
キュウリ栽培基準	44	使用可能農薬一覧表	63	出荷基準	92
ナス栽培基準	45	使用可能農薬一覧表	64	出荷基準	93
米ナス栽培基準	46	使用可能農薬一覧表	64	出荷基準	94
いんげん栽培基準	47	使用可能農薬一覧表	63	出荷基準	95
絹さや栽培基準	48	使用可能農薬一覧表	63	出荷基準	96
オクラ栽培基準	49	使用可能農薬一覧表	61	出荷基準	97
たかのつめ栽培基準	50	使用可能農薬一覧表	63	出荷基準	98
かぼちゃ栽培基準	51	使用可能農薬一覧表	64	出荷基準	99
原木しいたけ栽培基準	52	使用可能農薬一覧表	64	出荷基準	100
ブルーベリー栽培基準	53	使用可能農薬一覧表	64	出荷基準	101

野菜くらぶ栽培基準

1 背景、目的

急速な近代化は世界的に見るとイギリスの産業革命から、国内に限ってみれば明治維新より始まり、工業化による物質の大量生産により私たちの生活が豊かになってきたことは確かである。しかし反面、現代社会が抱えている食糧問題や環境問題、多種多様な健康問題なども同様に進行してきた。このような時代背景は農業の分野でいえば、急速に普及した化学肥料と農薬の多使用による弊害が収量こそ増加したものの、環境や食糧、健康問題に深く関わってきたということだろう。

私たち野菜くらぶは経営理念を「感動農業、人づくり、土づくり」として、これらの諸問題に対して農業を通じて改善し、よりよい方向に向上させるために、「・みんなに喜ばれる農業をしよう ・お客様の豊かさと幸福に貢献しよう ・環境を大切にしたい農業をしよう ・次世代に繋ぐ農業をしよう」を目的に設立された。

この野菜くらぶ栽培基準は、この経営理念を具体的に農業生産の場において実現し普及させるための指針であると同時に、より多くの人々に栽培の内容をわかり易く伝えることを目的とした基準である。

2 語句の定義

- ①野菜くらぶ農産物 堆肥等による土作りを行った圃場で、病虫害が発生した場合、作物別に野菜くらぶ栽培自主基準で決められた基準に沿って栽培された農産物をいう。
- ②有機農産物
有機 JAS 法に準ずる方法で栽培され認証された農産物。
- ③特別栽培農産物
農林水産省の特別栽培農産物に係る表示ガイドラインに準じる。
- ④堆肥
牛、豚、鶏などの家畜糞尿や、それに敷きわら等を混入したもの、植物、食物残渣などを堆積し発酵処理したものをいう。
- ⑤ぼかし肥
植物性かす類や動物性かす類、くん炭等を微生物資材や土着菌で一次発酵させた有機発酵肥料をいう。
- ⑥農薬
農薬取締法（平成 19 年 3 月 30 日改正）に定める農薬をいう。
- ⑦天然資材
植物保護・活性剤資材一覧に記載されているもので、自然界に存在するものを原料にし、内容成分、加工方法が明らかであるものをいう。
- ⑧特定農薬
地場天敵、重曹、食酢をいう。

3 基本原則

自然界で行われている生態系に学びその原理原則に従い、作物が本来持っている生命力を高めるための生育環境を整える。その際、圃場の周りの環境や、水源、土壌に汚染となるような、過剰な施肥、農薬の使用をせず、環境にも配慮をする。

具体的には、堆肥、ぼかし肥、緑肥による土作りを毎年行い、土の物理性、微生物性、化学性を整える。チッソ、リン酸、カリの入った化学肥料の使用は原則禁止する。微量ミネラルについては、畑作の場合は収穫という形で多数のイオン化したミネラルを持ち出してしまうので、不足したミネラルを補給することが必要である。この場合土壌検査、栽培履歴、作物内の養分分析の結果等を参考に必要な養分は補う。

土壌消毒、除草剤は原則禁止するが、天候等の要因で栽培上必要と認められる場合、作物別の野菜くらぶ栽培基準に従い使用を認める。その選択方法は、農産物を口にする消費者のことはもちろん、実際に農薬を取り扱う生産者の安全も考慮しなければならない。使用する農薬の選択を、有機 JAS 認証において使用可能農薬を優先的に使用する。また状況によって対照区、試験区を設けることで野菜くらぶ栽培基準は、常に目的に向かい見直しを行うこととする。

4 土壌肥料

地力維持のために堆肥を各圃場の必要量を見極め散布する。生活排水や人糞を使用しない。

収穫後は、緑肥作物を播種しロータリー耕又はプラウ耕にて鋤き込む等の土壌改善を努力する。

連作は極力しないで輪作体系をとる。

堆肥、ぼかし肥、また使用予定肥料・資材一覧表の資材を使用する。また、その使用予定にないものを使用する場合、使用予定資材の登録書、製造工程書、成分表の明らかに分かる書類を事業本部に提出し、栽培管理担当者は確認したうえ、使用予定肥料・資材一覧表に追加する。チッソ、リン酸、カリの入った化学合成肥料の使用は原則禁止する。ただし栽培する上でどうしても必要と認められる場合、各部長、野菜くらぶへ報告の上状況によって対照区、試験区を設けることでその使用を認める。

育苗土について、2003年から使用を始めた。今後も無化学肥料育苗土の開発、試験を進めて行く。

施肥設計は土壌分析、栽培履歴、作物の生育状況を考慮して、堆肥、ぼかし肥、購入資材の施肥量を設計する。元肥施肥は肥料を畑になじませるために定植、播種の約1ヶ月前までに施肥をすることが望ましい。この場合、過剰施肥は有機資材であっても病虫害の発生を促し、有害である硝酸を作物体内に多く蓄積させ、さらに土壌と地下水を汚染する恐れがあるので禁止する。その際、過剰施肥にならないよう土壌分析を参考にして施肥を行う。

5 病虫害対策

適地適作を行う。例えば、標高差と斜面向きによる気温の差により虫や病気の発生時期にずれがあるので、それを利用して作付けを行う。輪作体系の取り入れや麦等の緑肥のすきこみで土壌病害を押さえる。マリーゴールド等の混作により線虫の発生を防ぎその他の病虫害の忌避も行う。

適正な施肥管理により、作物内の硝酸態窒素の量を減らしアブラムシの発生を防ぐ。その他の害虫や病気に対してもまず、適正な施肥管理により作物を健全に育てることで病気や害虫に対する抵抗力をつける。病気や虫の発生を抑制するには別記植物保護・活性剤資材一覧の天然資材により予防を行うことが望ましいが、合成資材を使用する場合品目別使用可能農薬一覧表に合わせて使用する。捕虫器の使用により害虫の密度を下げるなどがある。また、病虫害対策を講じる場合、天然資材や特定農薬、有機 JAS 法で認められている農薬を優先的に使用する。

天敵、フェロモン剤の利用は他への生態系への影響を考慮し使用する。

土壌くん蒸剤の使用は原則禁止する。

使用可能農薬一覧表に載っていない農薬の使用は原則禁止する。天候等の原因で記載以外の農薬をやむなく使用する場合、基本原則に準じて農薬を選択し、その旨部会長、野菜くらぶに報告する。

尚、品目ごとに使用可能農薬を記載してあるが、使用する可能性のある農薬であり、病虫害の特性や農薬抵抗性、天候等を加味してどの農薬を使用するか判断するので、記載してあるそれらを全て使用するというわけではない。

6 雑草管理

除草の方法は、手取り、機械除草による除草とし、除草剤の使用は原則禁止する。ただし栽培する上でどうしても必要と認められる場合、各部会長、野菜くらぶへ報告の上その使用を認める。マルチによる雑草抑制を図る。圃場の周りの草刈りは、その草の種子がつく前に行う。

マルチに関しては現況ポリマルチを使用しているが、生物分解マルチを試験的に導入する。使用したポリマルチは法律で決められた処理をする。生分解マルチについてはその効果、土壌に対する影響、費用効率を他の機関とともに十分検討し、使用効果がある品目について使用を進めていく。環境問題も含めて必要な情報を取り、マルチに限らず最も環境に負荷のかからない材質、資材を常に検討する。

7 作物の品種の選択

品種については、適地適作のものを選択し自家採種のできるものはする。

種子の化学薬品による消毒は禁止するが、購入種子の場合、種子消毒していないものを優先的に購入していくが、メーカーに種子消毒以外の開発を促す。しかし、購入後の農薬による種子消毒は禁止する。

遺伝子組換え種子、苗の使用は禁止する。

購入苗の場合、その育苗管理者が明確で、生育過程において生産履歴が明らかなものを購入する。

8 情報開示

栽培者は常にその栽培の方法の開示が求められたときにはこれに答えなければならない。情報の開示を求めるものは、野菜くらぶ事務所に問い合わせる。栽培者が記録するものは、栽培計画書、栽培記録書である。

栽培計画書は作付け前に野菜くらぶにより確認をする。栽培記録書は栽培の経過を随時記録しその内容を常に閲覧できる。

栽培内容証明書は、野菜くらぶにより発行する。但し、栽培内容証明書はそれに捺印されているものに限り有効とし、コピー、ファックスのものは栽培内容証明書の意味を持たない無効のものとする。

9 農薬管理

農薬取締法の中で農薬とは、農産物を害する病虫害の防除に用いられる、殺菌剤、殺虫剤、除草剤、展着剤、天敵、成長促進剤等の薬剤を言う。使用する場合、登録の有無、安全使用基準を確認し、またその農薬の危険性、残留性や環境に対する影響等も認識する必要がある。また、使用する生産者がもっとも危険性のある資材であることを認識しなければならない。

その上で、生産物を出荷基準に基づいた品質でかつ安定的に出荷していくためには、現在のところ必要な農業資材であり使用する以上、農薬管理については管理者をおき鍵の掛かる農薬保管庫を各生産者が設置し、農薬在庫表を作成することとする。農薬の空容器は適切に保管し、行政の指導に従って処分する。最終有効年月を過ぎた農薬や使用禁止になった農薬は安全に保管し、公認のルートで処分する。

附表1：有機JAS使用可能肥料・資材一覧

名称	備考		名称	備考
アグリ 755	養分補給		大洋粒状 35.0 貝化石	土壌改良
アグリバイオ 553	養分補給		匠の枝	土壌改良
アミノ有機	養分補給		土のかおり	養分補給
アニマルぼかし	養分補給		40.0 硫酸マンガン	土壌改良
GPS100 有機入り 7-4-3	養分補給		天然加里エース	養分補給
M イーシー	養分補給		天然硫酸マグネシウム	養分補給
エコマッシュ	養分補給		ともだち 643	微生物資材
オーガニック 742	養分補給		5.3 なたね油かす粉末	養分補給
オーガニック 813	養分補給		なたね粕	養分補給
オーガニック 853	養分補給		ナチュラルクリーンネオ	養分補給
かきがら石灰	貝カルシウム		日光堆肥	養分補給
カツオール 7	養分補給		ネオアーゼミックス	養分補給
3-2 カニガラ	養分補給		ネオガード	養分補給
カニガラ肥料	カニガラ		ぬくもり	養分補給
コホバケーキ	養分補給		パートナーM26	養分補給
カナディアン・フルボ	土壌改良		バーミキュライト	土壌改良
シェルアップ	養分補給		ハーモニーシェルS	養分補給
天然加里エース	土壌改良		バイオノ有機S	養分補給
スーパーリンリン	土壌改良		バイオペレ 743	養分補給
キーゼライト	土壌改良		ハイベスト 100	養分補給
苦土物語	苦土補給		バイネオカル	養分補給
くみあいクリーンマグ 28	養分補給		バットグアノ	養分補給
グリーンパワー	養分補給		バイオ酵素 T	養分補給
ぐんま炭太郎	養分補給		粉炭	Ca 補給
鶏糞堆肥	養分補給		48 ほう酸塩肥料	養分補給
ケルプペレット	微量元素		マグアース	養分補給
元気 732	養分補給		マグキーゼ	土壌改良
ニューわかば	土壌改良		マグマエース	養分補給
ピカコー液	土壌改良		マグマックス	養分補給
米ぬか有機	養分補給		まもるくん 673Mg	養分補給
サージンEX	養分補給		みちのく炭素	養分補給
ツムラント	養分補給		ミネラル 99	養分補給
ポーライト	養分補給		ミネラルパック	微量元素補給
放線菌堆肥	堆肥		めぐみ	堆肥
彩色有機 555	養分補給		有機アグレット	養分補給
里っ子	養分補給		有機 M リン PK マグ	養分補給

※ 上記表は有機認証機関に確認済であるが、変更の場合があるので有機JAS圃場で使用の際注意すること。

有機 JAS 法で使用可能な農薬（優先的に使用）

殺虫剤

殺菌剤

農薬名	用途		農薬名	用途
エスマルク DF	オオタバコガ		IC ボルドー66D	軟腐、腐敗病
エコマスターBT	コナガ、アオムシ		Z ボルドー	軟腐、斑点細菌
ゼンターリ顆粒水和剤	オオタバコガ		ドイツボルドーA	軟腐、斑点細菌
デルフィン顆粒水和剤	オオタバコガ		サンボルドー	黒腐病、斑点細菌
ダイポール水和剤	ヨトウ、コナガ		バイオキパー水和剤	軟腐
チューンアップ顆粒水和剤	オオタバコガ		ペジキパー水和剤	軟腐
トアローフロアブル CT	オオタバコガ		イオウフロアブル	さび病
フロバック DF	コナガ、オオタバコガ		ハーモメイト水和剤	うどんこ病
プリファード水和剤	コナジラムシ類		ジーファイン水和剤	腐敗病
サブリーナフロアブル	コナガムシ		バータレック	アブラムシ(施設専用)
ポタニガード ES	コナジラムシ類		ポトキラー水和剤	灰色カビ
サングリタル乳剤	アブラムシ		エコショット	べと病
除虫菊乳剤3	アザミウマ類		アビオン-E	展着剤

※上記以外の有機 JAS 法に準じる登録農薬を使用する場合がある。

植物保護・活性剤資材一覧

培土一覧

名称	備考		名称	備考
NEW ハモーラ	土壌浸透活性剤		YG 培土	有機 100%
オリジナル活性液	健苗育成		スーパー子床	
アミノカ源	P 補給		セル苗元気	トマト用床土(農薬登録)
カルエキス	Ca 補給		苗美人N50	
活力源	P 補給		苗美人N100	
キチントップ G	キトサン+有益菌		苗美人N200	
キチン酵素	キトサン・酵素		クレハ ねぎ用培土	自然土 ゼオライト
鮮緑	Mg補給		有機 100%	
サカエ 1 号	トウモロコシ由来		有機の土	有機 100%
シャンゲー	食味向上		壮健培土	
バビロン	桂皮油、ユーカリ油		良菜培土	
シーマロックス液肥	微量要素補給		ニッピ園芸培土	
ファイト・オーツー	複合肥料		バーミキュライト	
真剣	納豆菌		ガッチリくん	

※上記以外の資材を使用する場合がある。

※できるだけ化学肥料不使用育苗土の使用を進めていく。

付表 2：使用予定肥料・資材一覧表

名称	備考		名称	備考
あおぞら	養分補給		日本の野菜エース	養分補給
アシスト 200	微量元素		バイオペレ 743	養分補給
アミノ有機 P	養分補給		畑のカルシウム	養分補給
アニミックス	養分補給		パワーアミノV55	アミノ酸 尿素入り
味じまんど	養分補給		有機燐太郎	土壌改良
アグロ加里	養分補給		発酵鶏糞	養分補給
アルギンゴールド	海藻エキス粉末		ファーム 48	養分補給
苦土石灰	養分補給		フィッシュチャンピオン	養分補給
FTE	微量元素		フィッシュ有機	養分補給
HRDゴールド	養分補給		プラチナオールマイティ	養分補給
MCリンサン	養分補給		ブラドミンL	養分補給
貝化石	土壌改良		ブラドミンPK	養分補給
カルビタPK	養分補給		プロアミノS	アミノ酸
カルプラス	養分補給		プロソイル	養分補給
カルエキス	養分補給		バッチリ核アモニ	養分補給
共栄武尊燐酸	養分補給		パワー薬師	養分補給
共栄有機 100	魚粕 植物粕		ポーマンL	養分補給
グリーンダイヤ	養分補給		ポーマンP	養分補給
珪酸カリ	微量元素		豊作物語	養分補給
米の精	養分補給		ほうれん草 888	養分補給
魚ソリューブル	養分補給		8-8-8 化成	養分補給
サルポマグ	養分補給		マイクロエース	微量元素補給
サンスリー	養分補給		マイルド千代田	養分補給
Gセブン	微量元素		マイルドユーキ	微量元素
G8	微量元素		マルチサポート	微量元素補給
新菜有記	養分補給		ミネラル 99	炭酸苦土石灰
スーパーノルチツソ	養分補給		ミネラルマグ	養分補給
スミカエース	養分補給		有機アグリ 755	養分補給
ゼオライト	土壌改良		有機燐太郎	養分補給
草木加里	土壌改良		硫酸加里	微量元素
千代田 5-5-0	養分補給		M-10	土壌改良
とくさい有機	養分補給		陸王 25	土壌改良
そさい 39 号	養分補給		陸王 60	土壌改良

* 上記表は、有機肥料(有機認証機関に確認中の物も含む)、化学肥料とも含んでいる。上記以外の肥料を使用する場合がある。

* 原則的に有機肥料を使用するが、天候等の原因でチツソ、リンサン、カリ入りの化学肥料を使用する場合がある。



*無断複製・転載・配布を禁じます。